

中緑が丘

自主
健康
友愛



←学校HPは
こちら

復興教育講演会・防災学習会

災害から命を守るために



8月28日（金）、台風10号豪雨災害から10年の節目に、復興教育講演会と防災学習を行いました。

講師には、本校同窓会長の坂本昇様をお迎えしました。坂本様は、災害当時、町内の避難所を回り、避難所の運営や被災された方々の支援に尽力されました。講話では、災害時に最も大切なことは「まず自分の命を守ること」とであると、何度も生徒たちに伝えてくださいました。

また、自衛隊岩手地方協力本部の隊員の皆様からは、新聞紙で作るスリッパや、毛布と棒を活用した簡易担架づくりなど、身近なものを活用した防災技術を体験を通して学びました。

加藤麗心さん（2年）は「台風10号があったときは、まだ幼い頃だった。今日の学習で家が倒壊しているのを見て被害の大きさを知ることができました。自助・共助・公助を学んだので、まず自分の命を守ってから、他の方や避難所などで、できることを率先してやりたいです。」と今日の学びを振り返りました。

今回の学習を通して、生徒たちは災害の恐ろしさを知るだけでなく、いざという時に自分自身や周囲の人のために何ができるかを考える機会となりました。

【復興・防災教育】地域とつながり・かかわり・共創する教育活動

教訓を学ぶ



【R6復興講演会】

【R7復興講演会】

自分たちで
できることを考
え、行動する。

実感をもった
理解に深まる

伝承・発信



【全校演劇】

【支援への感謝】

保護者からも大好評「TIVoランド」

プラス 日報

岩手日報 2026年09月02日 朝刊 14頁

岩中生が運営に取り組んだ「TIVoランド」。

プレオープン後に実施した保護者アンケートでは、多くの温かい声をいただきました。

「子どもがとても楽しんでいた」「雨の日や暑い日でも遊べる場所があってありがたい」「また、開催してほしい」といった声から、岩泉町における屋内の遊び場への期待の大きさを改めて感じました。

また、中学生スタッフに対しても、「優しく声をかけてくれた」「一緒に遊んでくれた」「安全に誘導してくれて助かった」「受付の女の子が子どもの名前を覚えていてうれしかった」など、たくさんの励ましのことをいただきました。一方で、エア遊具の安全管理や、小さな子どもたちが安心して遊べるスペースの充実など、今後に向けた貴重なご意見もいただきました。

今回の取組を通して、中学生が地域の子どもたちや保護者と関わりながら、自分たちの力で地域に貢献する喜びを実感することができました。いただいたご意見を今後の活動に生かしながら、子どもたちの笑顔が生まれる場所として、地域の皆様と一緒に育てていきたいと思ひます。

わたしの主張下北地区大会 「見つめ、考え、伝える」

8月27日（木）、田野畑中学校体育館にて、わたしの主張下北地区大会が開催されました。本校代表者2名は、自らの体験や経験を見つめ、そこから考えたことを自分の言葉で堂々と発表しました。

全体講評では、主張するためには、経験を伝えるだけでなく、「何を誰に伝えたいのか」を考えることが大切だと語られました。

私たちは、人や地域、社会と関わりながら生活しています。だからこそ、身の回りの出来事を見つめ、自分で考え、判断し、行動することが重要です。

この経験を学校生活や社会をより良くするための一歩につなげてほしいと思ひます。



プレオープンした「ティヴォランド」。思い思いに遊ぶ子どもたちを岩泉中生や保護者が見守った

岩泉中生が企画・運営

岩泉中（教員利校長、生徒95人の生徒によるボランティア団体「ティヴォランド」が企画した全天候型の遊び場が岩泉町の町民会館にプレオープンした。地域課題の解決を考える中で、子育て世代のニーズに着目し、0～6歳の子どもを対象に生徒が企画・運営を担う。13日の本格オープン後も定期的に開設し、親子が安心して遊べる居場所づくりにつなげる。

来てね 全天候型遊び場

町民会館にプレ開業 0月1回開催へ

8月30日の「ティヴォランド」プレオープンは約60人の子どもが来場。外は雨だったが、大ホールに設置した空気で膨らませる滑り台やトンネル型の遊具に夢中になり、楽しむ姿を保護者が見守った。生徒は受け付けをしたり、子どもたちと交流したりした。

▽「ティヴォランド」ボランティアの頭文字から取った団体は昨年4月に発足。イベントや子ども食堂の補助といった依頼に応えてきた。町内に天候に左右されず安心して遊べる場所が少ないことに着目し、地域の岩泉電工（東野元壽社長）から遊具の寄贈を受けた。PTAなどから協力を得て実現した。

本格オープンは同じ会場で13日前10時～正午。入場無料で以降も月に1度開設する。保護者同士の交流を図る場にする狙いもあり、生徒会長の東野泰佑さん（3年）は「子どもと大人がともに笑顔になれる場所。ぜひ来てほしい」と呼びかける。問い合わせは岩泉中（0194・22・21194）へ。金井圭平 記

と妹の結衣ちゃん（2）は「ふわふわの滑り台が楽しい。いろんな友達とも遊べた」と舌をそえた。母の祐子さん（38）は「町内にこのような場所がなく、どこかに行くにも遠かった。近くにあるのは貴重で今後また来たい」と歓迎した。

レオパレスは約60人の子どもが来場。外は雨だったが、大ホールに設置した空気で膨らませる滑り台やトンネル型の遊具に夢中になり、楽しむ姿を保護者が見守った。生徒は受け付けをしたり、子どもたちと交流したりした。

© IWATE NIPPO CO.,LTD. 著作権はすべて岩手日報社に帰属しており、無断複製転載を禁じます。



岩泉中学校

発表題「小さなきっかけと、小さな一歩」

発表者 佐藤 日南子さん（3年）

発表題「つながり」

発表者 佐藤 芳乃介さん（3年）